

環境まちづくり 会報

題字／福田博子

編集・発行／人間市環境まちづくり会議

盛り上がった環境フェア

会長 石本 勝彦

▼環境フェアと部会活動

平成24年度の活動を振り返って見ますと「第1回いるま環境フェア」が盛会に開催されたことは大きな成果であったと思つています。またこのイベントに環境まちづくり会議が中心的な役割を果たせたことも大きな意義があったと思つています。現在、第2回の開催に向けて実行委員会が設置され、再度委員長を引き受けることになりました。今後とも皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

部会の活動では、市民を対象にした見学会は、募集を開始してから30分で定員に達するという人気ぶりです。ま

た、毎月第2日曜日に行つているごみひろい隊の活動は、8年目に入り79回を達成しました。児童や学生、市報を見ての参加もありました。現在のコースは藤沢地区と豊岡地区ですが、今後この活動の輪を市内各地に展開できないか検討しております。



ごみひろい隊の活動の様子

▼ライフスタイルを見直そう
福島第一原発の事故による放射能汚染は、私たちに様々な議論や問題を提起しています。

ます。市民・団体・事業者・行政が協働して「加治丘陵里山フェア」のようなものを開催し、加治丘陵の魅力を発信すれば、観光資源として大いなる価値があるのではないかと思われます。

●原発の是非や再稼働について
●電力の自由化について
●これからのライフスタイルについて

そのためにも、環境団体との交流会や意見交換を重ねながら、将来的には皆さんに環境まちづくり会議の会員になっていただいて、環境ネットワークのようなものを構築し、自然部会のようなものができればと思います。

私たちはすぐにできることは日常生活の中でエネルギーを無駄にしない、ライフスタイルを見直すことです。エコライフデ어의取り組みは、そういう意義があると思つています。

今後とも会員の皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

▼加治丘陵の自然を活かして

約400haの緑豊かな加治丘陵は、多様な動植物が生存しています。昔は里山として人々が活用し生活の身近な存在としてありました。この素晴らしい資源を保全活用して、後世に残していくことは重要な取り組みであり

平成25年度 総会
5月18日(土)

午後2時30分より

市民会館 3階 1号室

第2回いるま環境フェアに向けて

これまで「まるひろ百貨店」のロビーで行われてきた「環境展」にかわって、「第1回いるま環境フェア」が平成24年6月17日に開催されました。3,000人の市民が来場し（主催者発表）、市民はもちろん、新聞報道等を通じて広く地域の方々に「市民・団体・事業者・行政のそれぞれが取り組む環境のカタチ」を発信できました。

環境まちづくり会議会員をはじめ、市内各企業、市民活動団体、事業者、市職員の皆さまのおかげと感謝しています。

入間市の財産である、加治丘陵・狭山丘陵・入間川・霞川・不老川などの自然環境と歴史文化を守り、私たちをとりまく様々な環境問題に対処していけば、自分たちのまちが住みよい環境になり、やがては「持続可能な社会」が実現すると思います。

現在、第2回いるま環境フェアの準備中です。2月下旬時点の段階でのアウトラインは次のようなものです。

お楽しみに（＾＾）……。

（木内勝司 記）

第1回には多くの皆さんが来場しました



第2回いるま環境フェアの開催概要（現在検討中、一部変更の可能性もあります）

～「いるま」から発信!! 私が取り組む環境のカタチ～

- ◆日時：平成25年6月15日(土)午後2時～8時（前夜祭）、16日(日)午前10時～午後4時
- ◆場所：入間市産業文化センター（中庭、ホール、1・2階集会室、研修室ほか）
- ◆プログラム

ホール

- | | | |
|--------|-----------|-------------------------------|
| 15日(土) | 午後2時～5時 | 環境活動発表会（開場午後1時30分） |
| | 午後7時～8時 | 前夜祭 「癒しのパンフルートのタベ」 |
| 16日(日) | 午前10時～ | オープニングセレモニー 東野高校吹奏楽部 |
| | 午前10時45分～ | 環境フォーラム in いるま |
| | | 市長・NPO・大学ほかの皆さんによるパネルディスカッション |
| | 午後2時～ | 福島における3.11体験談と歌と音楽 |

市内の都市鉱山(松田産業株)から金の延べ棒も出展予定!



1・2階集会室、研修室、中庭ほか

★オリジナルイベント

環境川柳発表・スタンプラリー・観光大使テオ・ゆるキャラ（ほぺたん）・電気自動車試乗会
・ペットボトル「光のオブジェ」・ミニ水族館カフェ・アロマセラピー・体験コーナー（霧箱、発電自転車、ストラップアクセサリづくりほか）

★パネル展示、実物展示、ゲーム、クイズ

★E-1グランプリ（模擬店）ほか

【部会だより その1】
入間市最大のソーラーパ
ネル出現

地球温暖化防止部会

ソーラーパネルを設置した(株)安川電機は、主にロボットやサーボモーター等を生産しています。工場内は整理整頓がゆきとどき、気持ちの良い製造工場でした。

この会社は、計画停電や政府の節電要請などがきっかけで、ソーラーパネルを設置したそうです。設置費用には県の補助金も利用し、平成24年2月から出力220kwで稼働中です。メーカーは2社で面積は半々、性能の差はほとんどないとの説明がありました。パワーコンディショナーは自社製を使用し、発電量は工場内の全電力の3%程度、そのため大幅な経費の削減には繋がってはいないそうです。年間を通して見てみると、やはり5月の発電量が一番

多いようです。

▼ソーラーパネル



▲発電モニター

少し残念なのは、土地の都合上、設置方位が真南ではないので100%効率よく太陽光を受けられないこと。また、高い建物が傍にあるため、夕方になると影がかかってしまい発電量が減ってしまうことだそうです。

しかし、入間市内では最大のソーラー発電です。

(本多 進 記)

【部会だより その2】
ごみへの関心と理解

みんなのごみ部会

みんなのごみ部会は、環境フェアや生涯学習フェスティバルへ参加し、今年紙類の資源化とダンボールを使った生ごみ処理を中心に展示をしました。また、11月に実施したコーサー(株)と埼玉県環境整備センターへの見学会は好評で、すぐに定員を超えました。



埼玉県環境整備センターにて

アンケート結果を見ると、参加して良かったとの意見が多くあり、参加した皆さん

んのごみへの関心と理解が深まったと感じています。

来年度の計画も皆さんの意見を聞きながら立案していく予定です。是非、見学したい施設の情報をお寄せください。

(鈿持和夫 記)

【その他の活動】
交流会を通じて

当会では、各団体が触れ合うことで総合的な繋がりを構築していけるように、年1回、環境交流会を実施しています。平成24年度は9月15日(土)に市民活動センターで開催しました。今回で3回目となり、入間市の身近な環境問題について改善策を深く掘り下げて話し合うことができました。また、「第1回いるま環境フェア」の取組についても意見交換がされ、お互いが充実した時間を共有できたようです。

啓発活動への取り組み

平成24年度も、ポイ捨てゼロ推進運動(9月)、ごみ減量・マイバッグ推進キャンペーン(10月)、路上喫煙防止啓発キャンペーン(11月)に参加しました。



※11月に配布したティッシュ

これらの取組は、入間市民の環境意識を高めるとともに参加者同士の意識と協力関係の繋がりをつくる大切な機会だと思っています。初めて参加した方には、「大変だが大切な取組だ」と、活動を通じて趣旨を理解して頂くこともできたのではないのでしょうか。

なお、今回のポイ捨てゼロ推進運動では、少し工夫をして、ポケットティッシュと同時に一煎茶パックも配布しました。

平成24年度年間事業



入間市環境まちづくり会議の活動コメント

当会では、生まれ変わった「いるま環境フェア」に率先して取り組みました。そのため、運営委員会といるま環境フェア実行委員会の2つをもち、多忙な年度になりました。環境美化については、ごみひろい隊が毎月市内の清掃活動等の取り組みをしました。また、他団体等主催の環境事業についても、積極的に参加をしました。見学会については、年3回開催し、省エネ・省資源の施設等の見学をしました。毎回、環境

意識の高い参加者が多い中、内容について高い評価を受けています。会員の皆さま、ふるってご参加ください。

エコライフデーについては、ゴーヤの種による「緑のカーテン大作戦」や埼玉県との取り組みである、家庭でできるエコライフ等を推進しています。平成24年度では入間市で多くの参加者がいることが認められ、表彰を受けることができました。



入間市環境まちづくり会議

事務局：入間市役所環境経済部環境課
住 所：〒358-8511 入間市豊岡1丁目16番1号

TEL：04-2964-1111(内線3221,3226)
FAX：04-2965-0232
E-mail：ir210100@city.iruma.lg.jp

